

ワーカーズコレクティブ風車

ニュースレターNo.35 2019.5



発行:「風車を支える会」 〒285-0864 佐倉市稲荷台2-14-3 TEL/FAX 043-309-8667

HP <http://www.reuse-fuusha.com> / E-mail: reuse.fuusha@nifty.com

お知らせ

● 風車 総会 ●

5月21日(火) 13:30~14:30 風車2階にて

NPO法人になってから第8回目の総会になります。ご参加いただける方はご連絡ください。また、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

ワーカーズコレクティブ風車は昨年10周年記念誌を発行しました。多くの方々に支えられてきました。地域に根づいた、誰もが安心して過ごせる居場所にしたいと思っています。これからも風車を応援して下さるよう、どうぞよろしくお願い致します。

昨年は例年よりリユース食器の仕事も多くなり、社会的にもリユース食器の認知が少し広がったのかと感じます。しかし、秋にヤマト便の配送料の値上げがあり、送料がネックとなって注文が伸び悩みとなっているのが残念です。

大きなイベントとしては、バスを借り切ってドイツ村に行ったこと、千葉県人権啓発指導者養成講座で精神科医療のあり方や福祉制度のあり方を根本的に問い直す内容の講座を企画したこと、2月にホームレス支援等の先駆者である稲葉剛さんの講演を佐倉ミレセンで開催したことです。また、地域に向けて0円ショップやマルシェも開催し、ご家族やボランティアの方々とも楽しく交流会ができました。

大きな成果は、10周年記念誌の発行によって、メンバーのすばらしい一面を見ることができたことです。それぞれの思いが形になったと思います。これからも表現することで、自己肯定につながる新しい展開を作っていければと思います。

なお、「風車を支える会」の振込用紙を同封させていただきます。引き続き、ご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。



<松本俊彦氏講演会「自傷行為の理解と援助」>報告 2019.4.7 佐倉市立美術館ホールにて

「登校拒否を考える会・佐倉」主催、「風車」協賛でやりました。リストカット等、自分を傷つける行為をどう理解し援助するか、についてお話いただきました。102名参加、アンケートも大好評でした。…「子どもの言葉が今、納得出来ました。」「質問がオープンにされたことで他の人の苦しみを知れて孤独感が和らぎました」「自分の全てを認めていただけました」等々、皆さんの感動が伝わってきました。

(以下、一部抜粋)

- *生きるために切っている。その瞬間はそれしかないのだから。叱責・反省を強いるのはダメ。むしろ辛さをねぎらって、今まで生きてきたことを誉めてあげること。
- *リスクの少ない関わり方は「良き外科医」の対応。冷静に傷の深さを見極める。静かに粛々と丁寧に処置をする。(深い時は病院に)
- *その子にいかなる困難があるか？訊いてみること。きっと何かあると思うこと。上から目線ではなく敬意をもって、関心をもって。
- *相談でも初回からは止めさせることは出来ない。生きる武器を取り上げてはいけない。直ちにやめさせようとするより、とにかく次に会えること。会えたらまたその次に。そうやって将来のリスクを減らすこと。
- *安心して bad news を話せること。「困ったね」と一緒に困って考える関係を作っていくこと。そんな中で少しずつ安心して気持ちが話せるようになって、根本的解決に向かっていく、そういうことを頭に置いておくこと。

「メンタルの話しよう」報告 4月26日 風車にて

以前からメンバーの間で希望があり、今回当事者のお二人をお招きし、体験を語っていただき、みんなで話し合いました。実際に体験した生の苦労話、そこからたどり着いた思いは本当に深く説得力がありました。「風車」の目指す方向と重なり、素晴らしかったです。また一人暮らしや生活保護についてなど、とても参考になりました。(以下、一部紹介)

<うるうるさん(漆塗装業、親の会お手伝い)>

- ・20歳から視線恐怖でずっと苦しんだ。ひきこもっていたが、サポートの場でも就労中心で怖かった。
- ・薬については精神科の医師と内科の医師との板挟み状態だった中で、苦労して減薬した。
- ・減薬で迷った時は自分の身体が一番弱い部分に訊いてみたらいい。(弱い部分に合わせること)
- ・世の中では大きな事をして沢山稼ぐ「広い生き方」が評価されている。でも、病気で色々な事が出来なくなったとしても、道端の雑草や花、水たまりの美しさ、空の青さを味わい、命を感じながら生きる「深い生き方」もある筈だ。

<小松原 愉さん(NPO 法人ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク理事)>

- ・(一人暮らしに至った経緯。)学校でのいじめ、バイトでのパワハラ、家族との関係等、様々な苦労を重ねどうしようもなく体調不良。働くのは到底無理。「働かずに生きていこう」と方針転換した。ひきこもりはセイフティーネット。
- ・生活保護を申請し、一人暮らしを始めた。(申請をスムーズにいかせるための具体的な方法について伝授)
- ・生きるための理論武装をした。人が生きる上で普遍的な思想とは何か？掘っていけば基本的人権がある。これは憲法で保障されている厳然たる事実。社会保障制度があるのは一人一人に人権があるからだ。そう考えて自己肯定感を作っていた。(以上)